

杉之原洋一 すぎのらやう 辯護士。明治二十年八月一日熊本縣生士れ（一八九七）。

京都帝國大學法學部卒。民法・労働法専攻。日本大學教授を経て、戦

後法政大學、北海道大學各教授歴任。昭和二十四年日本共產黨入党、

翌五年參議院議員選出となりと落選。その後札幌で辯護士副業。

著書「マルタシブム」對決するもの―批判と反批判―（合著・河野栄

士編、昭和二十四年八月十五日本労働文化社）等。